



災害に備えて

浜松市中区の瑞生寺様では、
昨年の十月より進めてまいりま
した水屋と多目的トイレ兼倉庫
の建築工事が完成いたしました。
二月十一日には総代さんと少数
の檀家さんが参列して落慶式を
行いました。毎年行われている
虚空蔵菩薩大祭と大般若経の祈
禱に合わせて落慶法要が行われ

ました。またトイレの仏様である鳥
沙摩明王の開眼法要も執り行われ
ました。今回の工事では参道も整備
されました。墓参りの方にも使
いやすくなりました。



桶棚と休憩用のイスも備えられました

そして倉庫にはいつ起こるか
わからない地震や自然災害に備
え、避難だけでなく災害ボラン
ティアの活動拠点としても活用
できる設備や防災用品を備
蓄し、井戸水の確保やAEDの設
置を含む地域に根づくお寺の
あり方を構築されています。ご
住職は十年前の東日本大震災
の復興ボランティアで活動した
経験があり、お寺に避難してき

た被災者がいたことなどをふま
えて、本堂の耐震工事などを計
画的に進めてきました。このよ
うな自然災害に対する日頃の
準備と心構えが、減災につな
がるのではないのでしょうか。



昨年行った本堂の瓦葺き替えに
より降ろした鬼瓦を記念碑とし
て設置いたしました。これまで
屋根の上で長い間見守ってく
れましたが、これは参道の脇
にて瑞生寺様と檀家の皆様を
見守ってくれることと思いま
す。